

教育学部教員選考経過及び選考結果

- ① 応募者数 17人
- ② 選考委員会開催日
令和元年11月6日
令和元年11月20日
- ③ 当該人事に係る
教授会等開催日 令和元年12月19日
- ④ 採用者氏名
水口 啓吾

⑤ 選考理由

審査委員7人による選考委員会を計2回開催し選考を行った。
教育研究の面では、氏は、音声言語知覚の熟達化、小学生の学習におけるワーキングメモリの役割について、系統的な実証研究を積み重ねており、人間の発達過程を踏まえた教育的介入のあり方について優れた科学的知見をもたらしている。このうち、前者の研究について広島大学より、博士号（心理学）を授与されている。発達心理学におけるこれらの研究に加えて、氏は臨床心理学の実践家としてのトレーニングも受けて、公認心理師及び臨床心理士の資格も獲得し、その領域でも研鑽を積んでいる。

教育経験の面では、現在も大学において専任講師を務めており、発達心理学や教育心理学といった授業を担当しており、学生指導の面においても今後の活躍が期待される。

これらのことから、氏は教員養成課程において発達心理学を担当する教員としての活躍のみならず、大学院教育学研究科心理発達臨床専攻において臨床心理学に関する専門科目等を担当し、実践及び研究の指導をおこなう教員としても、高い水準において業務を遂行できる人物であると評価できる。

以上の教育・研究業績から、水口啓吾氏の講師（発達心理学）としての採用を決定した。